

川崎市都市計画マスタープラン

第8編 多摩区構想 案

平成 18 年 11 月

川 崎 市

目 次

第1部 まちの現状	8-1
1 多摩区の変遷	8-2
2 人口動態	8-2
3 多摩区の産業	8-3
4 土地利用からみる多摩区	8-4
5 道路と住環境	8-5
第2部 めざすべき都市像	8-7
1 市民生活に必要な都市の骨格を形成する基盤整備をめざします	8-10
2 身近な生活圏における市民の暮らしの視点に立ったまちを育みます	8-10
3 バランスの取れたまちづくりの実現をめざします	8-10
第3部 分野別の基本方針	8-11
都市構造	
1 魅力ある地域生活拠点としての登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の育成・整備 ...	8-13
(1) 地域生活拠点としての「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区」のまちづくり	8-13
2 駅を核とする身近な生活圏を単位にしたまちづくり	8-13
3 地域資源を活かした、住み続けられるまちづくり	8-13
(1) 「農」のあるまちづくり	8-13
(2) 住環境の質的向上	8-13
4 水・緑の保全と回復による豊かな住環境づくり	8-14
(1) 水・緑・農のあるまちづくり	8-14
(2) 多摩丘陵の緑の保全	8-14
(3) 水に親しめる環境づくり	8-14
5 人と環境に優しい交通ネットワークシステムの形成	8-14
(1) 人と環境に優しい交通体系	8-14
(2) 骨格的な交通網と、生活圏における身近な交通手段のバランスを持った整備	8-14
土地利用	
1 多摩区の地域生活拠点として、特色ある登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちを育みます	8-16
(1) 個性ある利便性の高い地域生活拠点	8-17
(2) 自然や歴史といった地域固有の資源を活かした拠点形成	8-17
(3) 地域生活拠点にふさわしい都心居住のための良好な住環境形成のルールをつくります	8-17
(4) 地区の特性を活かした土地利用と街なみ景観のルールづくり	8-18
(5) 交通結節点の機能強化と2つの鉄道駅を核にした拠点構造を活かし、まちの回遊性を強化します	8-18

2	市民の暮らしを支える、人を大切にした6つの生活拠点を育みます	8-19
(1)	地域資源を活かし、商店街を核にした生活拠点の形成	8-19
(2)	誰もが利用しやすい、人を大切にした駅前空間の改善を進めます	8-20
(3)	拠点の顔としての街なみ景観を育みます	8-20
3	地域の特性を活かした安全・快適な住環境を育みます	8-21
(1)	平坦地の住宅地	8-21
(2)	丘陵地の住宅地	8-22
(3)	大規模団地の住環境の維持と改善	8-22
(4)	地区コミュニティを単位にした身近な住環境整備の支援の仕組みづくり	8-22
(5)	少子高齢社会に対応した住宅地の形成	8-23
(6)	地域の住環境向上に資する住宅づくり	8-23
(7)	幹線道路沿道の土地利用の改善	8-23
4	工業地域における生産機能の高度化と計画的な土地利用をめざします	8-23
<	土地利用の区分	8-25

交通体系

1	都市の骨格を形づくる体系的な幹線道路網の整備をめざします	8-29
(1)	広域調和・地域連携型の都市構造を形づくる幹線道路網のあり方	8-30
(2)	広域幹線道路網の整備	8-31
(3)	市域の各拠点を結ぶ幹線道路網の整備	8-31
(4)	人に優しく安全で環境に配慮した幹線道路等の整備	8-32
(5)	交通ボトルネックの解消	8-32
2	都市の活力の向上に資する環境に優しい鉄道網の増強をめざします	8-32
(1)	小田急小田原線の輸送力の向上	8-32
(2)	J R南武線の輸送力の向上	8-32
(3)	川崎縦貫高速鉄道線の整備	8-33
3	鉄道駅周辺のまちづくりと連携した駅へのアクセス環境の改善をめざします	8-33
(1)	鉄道による地域分断や鉄道駅へのアクセスの改善	8-33
(2)	踏切横断対策	8-33
(3)	鉄道駅周辺のまちづくりと一体となった道路アクセス環境の改善	8-33
4	環境への負荷が少ない公共交通網の整備をめざします	8-34
(1)	バス利用の利便性の向上	8-34
(2)	新しいコミュニティ交通	8-34
5	安全で快適な生活道路の改善をめざします	8-35
(1)	安全性、快適性を備えた住宅地内の生活道路づくりを進める	8-35
(2)	地区や街区のコミュニティを単位に、災害や犯罪に強い生活道路づくりを進める	8-35
6	人も自転車も、安心・安全に、快適に行動できるまちづくりをめざします	8-36
(1)	水、緑、風を楽しみながら、安全、安心に歩ける散策路のネットワーク	8-36
(2)	自転車と共存したまちづくり	8-36

都市環境

1	水・緑・農が、暮らしに息づくまちを育みます	8-39
2	自然と調和し、快適で良好な住環境をめざした「農」のあるまちを育みます	8-41
(1)	生産緑地地区における営農環境を維持し、農地と調和した良好な住環境を形づくり ます	8-41
(2)	「農」を活かしたコミュニティの形成と市民の農体験の場と交流の場を創出 します	8-42
3	多摩丘陵の緑地保全と公園・緑地を育みます	8-42

(1) 多摩区の都市の骨格を形づくる緑地帯として、多摩丘陵の斜面緑地を保全します	8-43
(2) 計画的な公園・緑地の配置の方針	8-43
(3) 生田緑地の保全・活用を推進する	8-43
(4) 緑地のふれあい活動と維持・管理を推進する	8-44
(5) 身近な公園の整備	8-44
(6) 都市緑化の推進	8-44
4 水の骨格を形づくる多摩川を育みます	8-45
(1) 治水・親水・自然環境のバランスの取れた整備をめざします	8-45
(2) 多摩川と市街地の連続性を向上させるため、アプローチを改善する	8-45
5 街なかの水辺空間を育みます	8-45
(1) まちづくりと一体となった河川・水路等の整備	8-46
(2) 安全で快適な都市環境を実現する下水道の整備	8-46
6 時の積み重ねが分かる歴史文化資源の保全活用と街なみ景観を育みます	8-46
(1) まちの資源の保全継承とまちづくりの推進	8-46
(2) 多摩丘陵や多摩川・二ヶ領用水等の風景資産を活かした街なみ景観の形成	8-47
(3) 地域の様々な資源を活かした都市景観の形成	8-47
(4) 来訪者に優しい交流環境の整備と観光を通したまちづくり	8-47
7 地球環境と地域の生活環境に配慮したまちをめざします	8-47
(1) 自動車公害対策の推進	8-47
(2) 市民の快適な生活環境の創造	8-47
(3) 環境に優しい循環型のまちづくり	8-48

都市防災

1 災害に強い都市構造の形成をめざします	8-50
(1) 震災に配慮した土地利用の推進	8-50
(2) 震災に強い市街地の形成	8-51
(3) 風水害に強い都市環境づくり	8-52
(4) 都市施設の防災性の向上	8-52
2 安全に避難できるまちをめざします	8-52
(1) 地域防災拠点の整備	8-53
(2) 消防署の整備	8-53
(3) 避難対策の確立	8-53
(4) 避難路の安全性の確保	8-53
3 地域コミュニティにおける災害に強いまちを育みます	8-53